

## 要 旨

試 験 委 託 者 : 環境省

表 題 : テレフタル酸ジメチルのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する  
繁殖阻害試験

試 験 番 号 : A 0 1 0 4 6 2 - 3

試 験 方 法 :

- 1) 適用ガイドライン : OECD 化学品テストガイドライン No. 211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)
- 2) 暴 露 方 式 : 半止水式(毎日試験液の全量を交換)  
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供 試 生 物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴 露 期 間 : 21日間
- 5) 試 験 濃 度 : 対照区, 助剤対照区, 0.500, 0.950, 1.80, 3.40, 6.50 mg/L  
(設定値) (試験液調製可能最高濃度)  
(公比 : 1.9)  
助剤濃度一定 : 100  $\mu$ L/L (テラトロン使用)
- 6) 試 験 液 量 : 80 mL/容器
- 7) 連 数 : 10容器/試験区
- 8) 供 試 生 物 数 : 10頭/試験区 (1頭/容器)
- 9) 試 験 温 度 : 20 $\pm$ 1 $^{\circ}$ C
- 10) 照 明 : 室内光, 16時間明 (800 lux以下) / 8時間暗
- 11) 分 析 法 : 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)

## 試 験 結 果 :

### 1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合が、±20%を越える値があったため、結果の算出には測定値の時間加重平均を用いた。

### 2) 21日間暴露後の結果

	(mg/L)	95%信頼区間 (mg/L)
親ミジンコの半数致死濃度 (LC50)	> 6.01	算出不可
50%繁殖阻害濃度 (EC50)	3.67	3.47~ 4.99
最大無作用濃度 (NOEC)	1.72	—
最小作用濃度 (LOEC)	3.25	—